



奈良の大仏の座高や重さはどれくらいなの

像の高さは当時16メートル

奈良の東大寺大仏は、約1200年前に、218万の人々が、約9年間かけて作りまし
た。752年（天平勝宝4年）、奈良の東大寺で、大仏の完成を祝う儀式がおごそかに行
われました。この大仏は、聖武天皇が、いつまでも国が栄えることを願って作られたもの
で、日本各地からたくさんの人手で物資が集められました。

像の高さは約16メートルで、重さは台座もふくめて、約380トンありました。

ちなみに、顔の長さは約5メートル、顔のはばは約3メートル、鼻の高さは約50センチメートルとなっています。

何度か修理された

ただし、とちゅう何度か、戦乱などでいたんだところが修理されましたが、1974年
(昭和49年)に写真で測ったときには、像の高さは約15メートルでした。

(監修・保岡 孝之)

